

第4回：原稿作成・前編（素材整理と全体の組み立て構成）

株式会社精興社

文章を書き慣れていない人が原稿を書く場合に、最も注意しなければならないことは、いきなり書き始めないことです。文章を書くということは次の3つの工程から成り立つことを意識しましょう。

- ・何をどの順番で書くのか（目次）を決める
- ・頭の中にある書きたいことを文字化（見える化）する＝下書き
- ・下書きを原稿に仕上げる

この3つの工程をあいまいなままに書き始めると、途中で行き詰まったり、内容がぶれたりして、「うまく原稿が書けない」ということに陥ることがあります。

原稿作成のポイント

手元に資料を集めます。これから書き始める自分史の資料になりそうなものを一通り手元に並べてみます。直接原稿の資料になりそうにないものや、テーマとはちょっとずれたものも、とりあえず資料として並べてみます。

次に、それぞれの資料を見ながら、それを原稿化した場合の見出しをメモしていきます。書き出した見出しを見ながら、章立て構成を考えていきます。

一般的に章立て構成は、4～7章で考えます。7章ではどうしても収まりきれない場合は、8章以上の構成になってもかまいませんが、まずは7章以内で構成できないかを検討してください。同様に4章に満たない場合は3章構成などでもかまいませんが、まずは4章構成にできないかを検討してみてください。

安田さんの場合は、以下のようにになりました。

- 第1章 生い立ちと住まい
- 第2章 マイホーム購入検討
- 第3章 マイホームに入居
- 第4章 私にとってのわが家とは

章立て構成が決まったら、メモした見出しを見ながら、頭の中にある「書きたいこと」をどんどん書き出していきます。うまい表現や文章のつながりなどはまったく気にせず、とにかく、頭の中にある「書きたいこと」をどんどん書き出してください。